中学歴史プリント（書き取り）
室町時代 No.2

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／22

1. 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 足利尊氏が京都に開き、武士による統治体制を確立した新しい政府を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 世阿弥が追求した、能の基礎となる芸術的な美しさを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
4. 足利義政の後継者争いから京都で勃発した、大規模な内乱は何年？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
5. 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
6. 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた、五音と七音を組み合わせ七音が先に来る言葉のリズムを何といいますか？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
7. 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
8. 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
9. 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
10. 15世紀に統一され、中継貿易で大きく繁栄した島はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
11. 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
12. 吉野が南朝の拠点となった理由として、京都の勢力から身を守るためにどのような地形環境が重要であった？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
13. 鎌倉幕府の滅亡後に後醍醐天皇が始め、約2年半で崩壊した天皇中心の政治を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
14. 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
15. 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
16. 堺などのような、海上輸送の拠点として栄え、商人が集まる町のことを一般的に何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
17. 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
18. 琉球王国が日本、中国、東南アジア諸国を仲介して行った、輸出入を通じた経済活動を何といいますか？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
19. 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
20. 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
21. 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
22. 東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間、棚などを備えた日本の住宅建築の様式を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「室町時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.2 室町時代

言えた　／22

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。	足利尊氏	□
2	尊氏は京都に拠点を置き、自らを征夷大将軍として「室町幕府」を開きました。	室町幕府	□
3	「幽玄」とは、単に美しいだけでなく、言葉では言い表せないほど深みのある美しさや、静寂の中にただよう気品を指す言葉です。	幽玄	□
4	この年（1467年）に、京都を舞台として守護大名同士の激しい武力衝突が始まりました。	1467	□
5	会合衆は、堺の有力者による合議組織です。	会合衆	□
6	二条河原の落書は、当時の世相に対する痛烈な批判を、当時の人々にとって馴染み深く覚えやすい「七五調」のリズムで表現しました。	七五調	□
7	「土倉（どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。	土倉	□
8	1428年に近江国（現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。	近江国	□
9	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。	宋銭	□
10	沖縄本島を中心とする琉球王国は、中国、日本、東南アジアの間に位置する地理的条件を活かしました。	沖縄本島	□
11	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。	二条河原の落書	□
12	吉野は奈良の奥地に位置し、非常に険しい山々に囲まれています。	峻険な山々	□
13	建武の新政では、公家を重んじ武士を軽視する政策が行われました。	建武の新政	□
14	「勘合」は、明が日本の貿易船に与えた割り印のある証票で、明が保管する底簿と照合されました。	勘合	□
15	足利義満が開始した勘合貿易は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。	勘合貿易	□
16	港町は、船による海上輸送の拠点として、国内外の物資が荷揚げされる場です。	港町	□
17	北山文化の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。	北山文化	□
18	中国、日本、朝鮮、東南アジア諸国を自国の船で結び、それぞれの国の特産品を運ぶ貿易を行いました。	中継貿易	□
19	足利義政は京都の東山に山荘（現在の慈照寺）を建て、そこを拠点に水墨画、茶の湯、華道などを愛好しました。	足利義政	□
20	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。	下剋上	□
21	日明貿易は、当時の日本にとって中国の文物を輸入する重要な手段でした。	日明貿易	□
22	書院造は、畳を部屋全体に敷き詰め、床の間や棚、障子、襖などを配置した建築様式です。	書院造	□

言えなかった用語ノート